

## リナリア エンチャントメント

冬のガーデンで、甘き香りのリナリアの花をご堪能ください

- リナリア・エンチャントメントは、キンギョソウのような形の花々から風雅な香りが舞い、低温下でも休むことなく咲き続ける、冬場の花壇に最適な植物です
- リナリア・エンチャントメントは、アップライトで分枝に富んだ品種です。草丈は花壇で 35 から 40cm ほど
- リナリア・エンチャントメントは種間交配品種なので、春先に温度が上がってきても他の冬物品種よりもやや長持ちし、少し長くガーデンを飾ってくれる植物です
- リナリア・エンチャントメントの出荷は、春先と秋の遅い旬がベストタイミングで、10cm 前後のポットサイズが適当です。もちろん花壇への直植えのほかミックスコンテナにも使いやすい品種です

本品種の学名: *Linaria hybrida*  
種子粒数(マルチペレット種子): 約 660 粒/グラム

### プラグ生産ステージ

リナリア・エンチャントメントはとても発芽の早い品種。低温条件で発芽するので、発芽チャンバーを使う場合は苗を徒長させないよう時期が来たらチャンバーから速やかに出すようにする

### 培地

水はけがよく、衛生的でピート主体の培地を用いる。土壌 pH を 5.5 から 6.2、初期養分を中庸(EC  $\leq$  0.75 mmhos/cm、1:2)の範囲とする

### 播種

リナリア・エンチャントメントはマルチペレット種子による供給。それぞれのペレットからは 2 から 3 本発芽する。トレイサイズは 288 から 406 穴が適当。粗めのパーミキュライト等で軽く覆土する。発芽にはわずか 2、3 日

### 温度

発芽ステージ:	18 から 20°C
子葉展開ステージ:	18 から 22°C
本葉展開ステージ:	18 から 21°C
育苗後期:	16 から 18°C

### 光条件(照度)

#### 発芽期(ステージ 1):

電照等は不要だが、暗い条件では胚軸が伸びやすくなるので、明るい方が条件としては好ましい

#### 発芽終了後:

照度は 10,000 から 3,0000 ルクス(1,000 から 2,500 f.c.)

#### 育苗中・後期:

温度域を適正に管理できるのであれば、照度を最高 54,000 ルクス(5,000 f.c.)にまで上げることが可能

### 湿度

幼根が現れるまでは、相対湿度 95%を維持

### 培地の水分

幼根が現れる頃までは水分を高めにし、根が培地の中に行き渡るにしたがって水分レベルを下げる。乾かしすぎて、苗を枯らさないように注意する

### 肥料

幼根発生の時点: 14-0-14 か 13-2-13(あるいは近い比率)の肥料を 50 から 75 ppm(N)で与える

子葉展開以後: 上記の要領で濃度を 100 から 150 ppm(N)くらいまで上げる

### 矮化处理剤

質の高いプラグを生産するため、ステージ 1 での矮化处理することが重要。幼根が現れた直後に、胚軸の急な徒長を抑えるために、ボンザイ 2ppm を散布。7 から 10 日おいて、今度はボンザイ 5ppm を 2 回目の散布として供与する

### ポット上げから出荷まで

#### 用土

水はけがよく、衛生的でピート主体の培地を用いる。土壌 pH を 5.5 から 6.2、初期養分を中庸の範囲とする

### 温度

昼間温度: 13 から 18°C

夜間温度: 10 から 16°C

リナリア・エンチャントメントは、(温度域内)温度が低い方が花色の着色がよく、また香りも強くなります

### 光条件

温度が適温域であれば照度をできるだけ高めに維持する

### かん水

極端な過湿や乾燥は避ける。乾かしすぎて、苗を枯らさないように注意する

### 肥料

週に 1 回 15-5-15(20-10-20 で代用可)の比率の肥料を 150 から 200 ppm(N)で与える

## 矮化処理剤

### 社内試験済みの処理方法:

ポット上げ後 1 週ほどたってからボンザイを 10ppm 散布する。これは、脇からの分枝を活性化させ、主軸(中央の枝)が伸びすぎないようにするため。脇からの側枝が 4cm くらい上がってきたら、今度はボンザイを 20 から 30ppm 散布する。必要に応じて、ボンザイの追加投与も可能。ボンザイ散布はステムの強化と花色の濃くすることにも効果がある

### 別の処理方法:

B ナイン 2,500ppm とサイコセル 300 から 500ppm のタンクミックスも使っても、丈の伸長を抑える有意な効果がある。しかしながら、茎の強度という点ではボンザイほど強くはならない効果は得られない

## ピンチ

株のボリュームを出すためのピンチであれば不要。しかし株の生育が計画よりも早すぎる場合は、また温度が高く矮化剤の散布が遅れた時などは、ピンチをした方がよい。株が大きくなり過ぎた場合には、ピンチや切り戻しをすると、いくぶん開花に遅れが生じるものの、それなりにボリュームのある株になる

## 栽培スケジュール

播種からポット上げまで(400-288 穴トレイ): 4 から 5 週  
ポット上げから開花・出荷: 下記参照

コンテナ サイズ	株本数 /鉢	鉢上げから開 花までの週数	播種から開 花までの週 数
306 パック*	1	5-6	9-10
10-11cm ポット	1	6-7	10-11
15-16cm ポット	3	6-7	10-11
大鉢 (18cm 以上)	3	6-7	10-11

\*: やや大きめのカットパック。容積は 9cm ポットよりもいくぶん小さい

植物の性質上、秋の早い時期の播種よりも、どちらかといえれば遅い時期の播種を勧めている。8 月、9 月頃の暑い時期に播種をすると株の生育が早く、丈を抑制することは決して容易ではない

## 予想される一般的な障害等

害虫: アブラムシ

病気: 重度の病例報告は現在のところ確認されていません

## 花壇植え付け時の条件等

日照条件: 日向

草丈: 35 から 40cm

株張: 30 から 35cm

株間: 20cm

その他: パンジーやビオラと同様で、クールシーズン(秋から春先まで)向けの植物です。冬場の気候がさほど厳しくない土地では冬場も休まず花をつけます

注意: EC 値(電気伝導度)は、ピート主体の北米の用土を基準としているので、質の異なる土を用いた配合では適合し得ない場合もあります。

# PanAmerican Seed™

PanAmSeed.com

®および®は Ball Horticultural Company のアメリカおよびそれ以外の国における登録商標です。

PanAmerican Seed Co.  
622 Town Road  
West Chicago, Illinois USA 60185-2698  
630 231-1400  
Fax: 630 231-3609

PanAmerican Seed Europe BV  
Lavendelweg 10  
NL-1435 EW Rijssenhou, Holland  
+31 (0)297-383038  
Fax: +31 (0)297-383036

©2004 Ball Horticultural Company Japanese translation version  
Originally printed in USA PAS05050